

## 令和5年度 英語学習実施状況について

金沢市立大野町小学校

## ①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和6年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	34.0	45.0	21.0	0.0	0
問2	英語の勉強は大切だ。	55.0	38.0	7.0	0.0	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	17.0	59.0	21.0	3.0	0
問4	英語の授業の内容が分かる。	59.0	38.0	3.0	0.0	0
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	21.0	59.0	20.0	0.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	17.0	52.0	28.0	3.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	72.0	28.0	0.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	76.0	24.0	0.0	0.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	93.0	7.0	0.0	0.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	28.0	52.0	17.0	3.0	0.0

## ②指導改善の具体策

- ・「英語の勉強が楽しい」の割合を増やすために、児童にとってわかりやすい授業の工夫が必要である。特に、英語で質問したり答えたりする時間を十分に設け、自信をもってコミュニケーションができるようにする。
- ・評価の仕方を工夫したり外国人と触れ合う機会を設けたりして英語を使う場を設け、既習の表現を使ってコミュニケーションできる力をつける。

## ③学校関係者評価

・英語に対して意欲的で肯定的な意見が多く、これまでの英語教育を積み重ねてきた結果だと思えます。これからの子どもたちにとって英語は大切なんだと感じました。一方で、否定的に捉えている子に対して、中学校でもケアしてほしいと思います。

・アルファベットが書けると答える児童が100%なのは素晴らしい。学習によって力がついているとわかりました。

・英語が好きで、その大切さを感じている児童は比較的多い。また、学習内容を知識として理解している児童も多い。しかし、英語で質問したり答えたりするといった実際のやりとりとなると、苦手意識をもつ児童が増える。引き続き、単語等の知識を増やす学習を取り入れるのに加えて、外国の人を招いたりして英語しか使えない状況を作り、質問したり答えたりする経験をさせる機会があればいいと思う。

・アルファベットを書くこと比べ、会話は難しく思っている児童がいることが気になります。実践の場で英会話ができるようになってほしいと思います。

・どの項目も肯定的に捉えている児童が多いのは良いと思います。ショートタイムは週に1回あると聞いています。短い時間なので、内容を充実させていくといいと思いました。

・英語の勉強は大切だ、授業内容が分かっているのはとてもよいと思います。ただ、英語を話すことに抵抗を感じたり難しく思ったりするのはよくわかります。もっと会話をする機会を増やしたらいいかなと思いました。実践的な会話をしてほしいです。

・英語が好きになれないのは、英語で話すことに不安をもっているからだと思えます。昨今、多くの外国人観光客が金沢を訪れています。昔に比べ外国の方と会話をする機会はあると思います。そういった機会を設けて、くずねんずしながら楽しく会話する経験をしてほしいと思います。